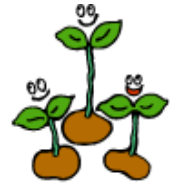


《まめ知識》



2色成形

2007年7月

例えばキーボードのキートップ、オーディオ機器のボタン、スイッチ。これらの製品には、異なる色が一つのパーツに入っていますが、どのように作られているのでしょうか？

現在、よく用いられているのは『2色成形』という成形法です。これは、色の異なる樹脂と樹脂を同時に成形する方法で、まず1色目の樹脂を金型に注入し、その金型を回転させます。そして、1色目の樹脂の上から2色目の樹脂を重ねて注入し、製品を作っていきます。

でも実は、この成形法が誕生するまでは、色の数だけの金型を作り、各パーツを成形した後はめ込み作業、接着作業を行っていました。そのため、製造工程が多く、コストがかかり、完成品の強度も弱いものでした。2色成形の誕生のおかげで製造工程が減り、コストダウンと品質アップが実現したのです！

また、異材質成形という成形法もあります。これは、『エラストマー + 樹脂』という組み合わせのように、異なる材質同士の同時成形が可能な成形法です。

『2色成形』『異材質成形』は共に、コストダウン、品質向上という生産者側にとってのメリットがあるだけでなく、耐久性やファッション性にも富み、消費者側にも満足を与えることのできる技術なのです。



Copyright(c) 2006 OKAYAMA CO., LTD. All Right Reserved



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目32番7号

TEL 03-5688-6700 / FAX 03-5688-6709 [E-MAIL okayama@kk-okayama.co.jp](mailto:okayama@kk-okayama.co.jp)